

ふれあい交流事業 経過報告

ふれあい交流事業は、未委託の里親さんが児童福祉施設での児童との触れ合いを通して、施設の生活・関わりや実際の“子ども”を体感し、社会的養護を必要とする児童への理解を深めていただくことを目的とした埼玉県の事業です。私たち乳児院・児童養護施設の行事や日常生活等のお手伝いに、未委託の里親さんが“ボランティア”として入っていただくことで、子どもたちとのふれあいの場を提供しています。

今回は実際に参加して下さっている里親さんの声や、施設で受け入れを対応している里親支援専門相談員の感想をお届けします。

今回の報告は **14施設** から

愛泉乳児園、神愛ホーム、カルテット、済生会川口乳児院、桑梓、乳児院 つぼみ、光の子どもの家、埼玉育児院、おお里、あいの実、江南、愛泉寮、いわつき、いわつき乳児院

左記の施設でボランティアに参加された里親さん

36組 60名

(令和6年4月~12月)

《ボランティアの内容》

施設行事

○お出かけイベントに同行

○納涼祭・夏祭りなどの出店手伝や

子どもに付き添い



など…

日常生活

○抱っこ・授乳

○一緒に遊び

(週末や夏休みに/宿題・勉強も/食事も/趣味の手芸など)

○休日の保育補助



など…

《里専が感じたこと》



- ・短い時間でも、どの里親さんも笑顔で子どもと関わっていて楽しそう。
- ・共働きの里親さんで、休日で調整しました。今後も柔軟に対応していきたい。
- ・子どもの成長の早さに驚く里親さんが多いです。
- ・社会的養護の児童を理解するという点では児童をよく観察していただき、必ず職員とともに行動するようにしています。

・初めはどう声をかけたらよいか戸惑っていましたが、こどもの名前を憶えてからは、積極的に名前を呼んで関わりを持っていました。ぎこちなかった抱っこも回数を重ねると慣れてきて、目を合わせて「かわいいね」とたくさん話しかけています。

・子どもに接した経験の少ない里親さんは、初めどう子どもに声掛けしたら良いか戸惑っているようだが、イベントの後半には上手に声をかけて下さっている方が多い。

・施設行事のボランティアは比較的気軽にでき、施設の子どもの様子を全体的に知ってみたいという方にはおすすめ。保育や遊びのボランティアは、子育て経験のない里親さんにとっては、幼児がどんな遊びが好きか、トイレの介助等をどうやっているかを知ることができて良いよう。

<参加して下さった里親さんの声>



初めてで緊張したし、不安だったけど・・・

- ・子どもたちの笑顔ですぐ溶け込むことができ楽しかった。
- ・回数を重ねるごとに緊張がほぐれ楽しい時間を過ごす事が出来ている。
- ・子どもたちから声をかけてもらえてよかった。
- ・体力・気力ともに使ったが、楽しい時間を過ごせた。
- ・最初は緊張していたが、何度か行くと、子どもの方から「来た！」と言って寄ってきてくれるようになり、嬉しく思う。

へえ～、そうなんだあ！

- ・子どもによって個性があって、小さくても自分で意思表示をすることができるんだと感じた。
- ・みんな元気でとても良い環境だと感じた。
- ・子どもたちが嬉しそうにゲームをしたり、お祭りを感ずる食事を楽しそうに食べている様子が印象的だった。
- ・育児の経験が無いので、子どもへの声掛けや接し方に関して悩みや不安があった。
- ・子ども達の早い成長に驚き、嬉しく思います。
- ・子どもとのかかわりは体力を要すると思った。
- ・女の子の幼児希望の方だったが、男の子も可愛いな。と感じた。



楽しい！！

- ・人見知りの子から活発な子もいて楽しく遊ばせてもらった。
- ・ふれあえてとても楽しい時間だった。
- ・子どもたちと楽しくふれあえてよかった。
- ・毎回通うのが楽しみです。
- ・たくさんのこどもと関わることができて楽しく過ごせました
- ・毎回楽しみにしている。
- ・行事の出店手伝いで、幼児から高校生まで幅広くやりとりができてよかった。
- ・子どもたちが名前を憶えてくれるたびに嬉しい気持ちになる。



これから・・・



- ・これからもたくさんボランティアに参加したい。
- ・今回参加してよかった、機会があればまた参加したい。
- ・いろいろと参考になり、今後にかかしていきたいと思った。
- ・自分があることでこどもたちの役に立つなら嬉しいです。
- ・楽しいのでこのままでもいいかなと思っている。

ふれあい交流事業に参加して「かわいい」だけではない「生身」の子どもに触れていただくことで、参加された里親さんは新たな「気づき」を実感されているようです。「子どもの育ち」を支える仲間として里親さんにとって施設がより身近になることを願っています。